

平成28年度

岡山大学大学院法務研究科  
(法科大学院)

学生募集要項

一 般 入 試  
〔 法学未修者入試 〕  
〔 法学既修者入試 〕

中四国地域枠特別入試

岡山大学大学院法務研究科

連絡先 岡山大学大学院社会文化科学研究科等事務部 法務研究科教務担当  
所在地 〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1  
電 話 (086) 251-7358

## 入学者受入方針 (Admission Policy)

岡山大学大学院法務研究科に入学する人は、次のような人が望ましいと考えています。

### (1) 社会問題への関心

社会の現状や問題に幅広い関心を持ち、その解決に力を尽くそうとする人を望みます。また、未知のことがらについても知的な好奇心を持ち、自ら調査し探求する態度が求められます。特に、本大学院は、「地域に奉仕し、地域に根ざした法曹育成」を目指しているため、身近な生活問題の解決や人権擁護のために働くことに関心がある人を歓迎します。

### (2) 倫理観・正義感

「社会生活上の医師」とも言われる法曹に期待されているのは、単に紛争を解決し、予防するだけでなく、心のケアもできるような人間として信頼できる人です。その基礎となる倫理観・社会的正義感をもつ人を求めます。

### (3) 論理的思考力

法曹には、問題を法的に整理し論理的に理由付ける能力が必要とされるので、論理的思考力を有することが求められます。

### (4) コミュニケーション能力

法曹の仕事の基礎として他人とのコミュニケーションが必要であるため、他人の置かれている状況や気持ちを聞く能力や自分の考えを明確に表現できる能力があることが求められます。

## 平成28年度の募集人員

平成28年度法務研究科学生募集においては、A・B・C各日程の法学未修者入試及び法学既修者入試と中四国地域枠特別入試とを合わせて30人を募集します。

	一般入試	中四国地域枠特別入試	小計	総計
法学未修者	12	6	18	30
法学既修者	12	—	12	

※中四国地域枠特別入試の合格者がその募集人員に満たない場合には、その欠員数を一般入試の法学未修者入試に含めて選抜します。

## 目 次

I 一般入試	1
1 募集人員	
2 出願資格	
3 出願手続	
4 出願期間	
5 受験票の交付	
6 障がい等のある方の出願及び受験上の特別措置	
7 2段階選抜について	
8 入学者選抜方法等	
9 試験日程及び試験場	
10 合格者発表	
11 入学手続	
12 追加合格	
13 法務研究科の修業年限	
II 中四国地域枠特別入試	8
1 募集人員	
2 出願資格	
3 出願手続	
4 出願期間	
5 受験票の交付	
6 障がい等のある方の出願及び受験上の特別措置	
7 2段階選抜について	
8 入学者選抜方法等	
9 試験日程及び試験場	
10 合格者発表	
11 入学手続	
12 法務研究科の修業年限	
III 共通事項	12
1 注意事項	
2 学生募集要項等の請求方法について	
3 入試情報の開示	
4 入試に関する照会先	
5 個人情報の取扱いについて	
• 出願資格審査について	15
• 記入上の注意事項	17
• 岡山大学大学院法務研究科の概要	18



# I 一般入試（法学未修者入試・法学既修者入試）

## 1 募集人員

入 試 区 分	募集人員
法学未修者入試	12人
法学既修者入試	12人

（注1）平成28年度法務研究科学生募集においては、A・B・C各日程の法学未修者入試及び法学既修者入試と中四国地域枠特別入試とを合わせて30人を募集します。法学未修者入試及び法学既修者入試の募集人員はその内数です。

（注2）同一日程の法学未修者入試と法学既修者入試は併願することができます。両入試の合格基準を満たした場合は、法学既修者入試に合格したものとして取り扱います。

A日程又はB日程において法学未修者入試と法学既修者入試を併願した者で、法学未修者入試合格者で入学手続を行った者を対象に、後日、法学既修者認定試験を行うことがあります。詳細は対象者宛に文書で通知します。

（注3）法学部・法学科以外の学部・学科の出身者及び社会人については、募集人員の3割程度を合格させることとします。ただし、その割合は受験者数・試験結果によって変わることがあります。

## 2 出願資格

出願資格を有する者は、次のいずれかに該当し、かつ、適性試験管理委員会が実施する2015年法科大学院全国統一適性試験を受験している者としてします。ただし、法科大学院全国統一適性試験の得点が本研究科の定める最低基準点に満たない者の出願は認めません。最低基準点については、適性試験管理委員会が公表する総合得点の度数分布に基づき、法科大学院全国統一適性試験の総受験者の下位から概ね15%を目安として設定し、平成27年7月上旬頃に本研究科ホームページ上でお知らせします。（URL <http://www.lawschool.okayama-u.ac.jp>）

- ① 大学を卒業した者又は平成28年3月までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により、学士の学位を授与された者又は平成28年3月までに学士の学位を授与される見込みの者（以下「学位取得見込者」という。）（注1）
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者又は平成28年3月までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は平成28年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は平成28年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（平成17年文部科学省告示第169号参照）
- ⑦ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- ※⑧ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者で、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると本研究科が認めたもの
- ※⑨ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で（注2）、平成28年3月までに22歳に達しているもの

(注1)「学位取得見込者」とは、学位規則(昭和28年文部省令第9号)第6条第1項の規定に基づき独立行政法人大学評価・学位授与機構が定めている要件を満たすものとして認定を受けている専攻科に在籍する者で、当該専攻科の修了が見込まれること及び当該者が学士の学位の授与を申請する予定であることを当該専攻科の置かれる短期大学長又は高等専門学校長が証明できる者です。

(注2)短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等であっても、本研究科における個人の能力の個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者については、出願することができます。

※⑧⑨の入学資格の該当者は、出願前に個別の出願資格審査を行いますので、本研究科(大学院社会文化科学研究科等事務部 法務研究科教務担当 電話086-251-7358)へ問い合わせの上、15ページの「出願資格審査について」に従って所定の手続を行ってください。

### 3 出願手続

入学志願者は、次の書類等を本研究科所定の封筒に入れて、出願期間内に郵送又は持参してください。

なお、同一日程の法学未修者入試と法学既修者入試を併願する場合も、出願書類の提出は1部で結構です。

出 願 書 類 等	摘 要
① 入 学 願 書 受 験 票 写 真 票	本研究科所定の用紙に必要事項を記入してください。 入学願書、写真票の所定欄に写真を貼ってください。 (縦4cm、横3cmの正面上半身無帽で3か月以内に撮影したもの)
② 法科大学院全国 統一適性試験の 成績証明カード	適性試験管理委員会が実施した2015年法科大学院全国統一適性試験の成績証明カードを、「法科大学院全国統一適性試験成績証明カード貼付用紙」の所定欄に貼って提出してください。
③ 法科大学院全国 統一適性試験の 第4部「表現力 を測る問題」の 解答用紙(写)	C日程の法学未修者入試に出願する者(法学未修者入試・法学既修者入試併願者を含む)で小論文試験に代えて、法科大学院全国統一適性試験第4部での評価を希望する場合は、適性試験管理委員会の提供する <b>厳封された第4部の解答用紙の写し</b> (成績証明カードと同じ回のもの)を提出してください。
④ 入 学 検 定 料 30,000円	振込手数料が別に必要です。 入学検定料は、添付の「入学検定料振込用紙」により、金融機関(ゆうちょ銀行又は郵便局を含む。)の窓口から(ATMは利用できません。)振込によって納入し、必ず「入学検定料振込証明書」を入学願書の所定欄に貼ってください。 なお、同一日程の法学未修者入試と法学既修者入試を併願する場合も、入学検定料は左記の金額と同額です。
⑤ 成 績 証 明 書	出願資格に記入する出身大学の長又は学部長が作成し厳封したもの
⑥ 卒業証明書又は 卒業見込証明書	出願資格に記入する出身大学の長又は学部長が作成したもの ※出願資格(注1)「学位取得見込者」で志願する者は、当該者が在籍する短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科の修了見込証明書及び当該者が学士の学位の授与を申請する予定である旨の当該者が在籍する短期大学長又は高等専門学校長の証明書を提出してください。
⑦ 志 望 理 由 書	本研究科所定の用紙により、作成してください。
⑧ 受 験 票 送 付 用 封 筒	本研究科所定の封筒に、392円分の切手(簡易書留分)を貼付し、住所・氏名・郵便番号を記入してください。 その際、敬称を訂正しないでください。
⑨ 資 格 取 得 証 明 書 等	17ページ 記入上の注意事項【入学願書】を参照し、特記すべき資格欄に記入した場合には、証明する写し等を提出してください。

(注1) 外国人の入学志願者は、上記以外に、住民票（在留資格・在留期間の記載されたもの）又は入国査証の写しを、別途提出してください。

国費外国人留学生は、在籍する大学長等が発行する国費外国人留学生の証明書を添付してください。

国費外国人留学生は、原則として入学検定料は不要ですが、平成28年3月31日限りで奨学金支給期間が終了する者は、入学検定料の納入が必要です。

なお、奨学金支給期間の延長が認められた場合には、入学検定料を返還します。

(注2) 2の出願資格⑧⑨により出願する者は、本研究科から送付された出願資格審査結果通知書も提出してください。

出願書類の作成、提出に際しては、下記の点に注意してください。

- ① 本研究科のA日程又はB日程の入試に合格し、入学手続を行った者は、それ以降に行われる日程の法学未修者入試及び法学既修者入試のいずれにも出願することはできません。
- ② 出願書類等に不備があるものは、受理しません。
- ③ 提出された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 出願後に入試区分及び単願・併願の受験区分を変更することはできません。
- ⑤ 証明書等の氏名が現在の氏名と異なる場合（改姓されている場合）には、改姓（名）の日付と新旧姓（名）を、入学志願者本人が記入した文書（様式は任意です。）で提出してください。
- ⑥ 外国語で作成された出願書類等には、日本語訳を必ず添付してください。
- ⑦ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがあるので注意してください。

#### 4 出願期間

A日程	平成27年 7月31日（金）から平成27年 8月 7日（金）まで
B日程	平成27年10月 9日（金）から平成27年10月16日（金）まで
C日程	平成28年 1月 4日（月）から平成28年 1月 8日（金）まで

※郵送の場合は、本研究科所定の封筒を使用し、出願期間内に到着するように、書留速達にて送付してください。ただし、出願期間最終日までの消印のあるものに限りに、出願期間後に到着した場合でも受理します。持参の場合は、出願期間内（土・日曜日、祝日を除く。）の8時30分から17時15分までに下記提出先へ持参してください。この期間を超えての出願は、いかなる理由があっても認めません。

提出先

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学大学院社会文化科学研究科等事務部 法務研究科教務担当 【電話（086）251-7358】
--

#### 5 受験票の交付

- (1) 受験票は、出願期間終了後10日程度で本人あて発送しますが、試験日の10日前までに到着しない場合は、4の提出先に確認してください。
- (2) 受験票は、入学試験時及び入学手続時に必要となるので、大切に保管しておいてください。

## 6 障がい等のある方の受験上及び修学上の特別措置

障がい等のある入学志願者が、受験上及び修学上特別な配慮を希望する場合は、出願に先立ち、次により相談してください。

相談締切期限	A日程 平成27年7月10日(金) 17時15分まで B日程 平成27年9月25日(金) 17時15分まで C日程 平成27年12月4日(金) 17時15分まで
相談方法	下記へ「出願に伴う事前相談書」を請求して、医師の診断書及び障害者手帳の写し(交付されている者のみ)を添えて相談してください。
書類請求・提出先	〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学大学院社会文化科学研究科等事務部 法務研究科教務担当 【電話(086)251-7358】
結果の通知	A日程 平成27年7月24日(金) B日程 平成27年10月9日(金) までに通知(連絡)します。 C日程 平成27年12月21日(月)

迅速な相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間等を考慮し、少しでも早く相談してください。

なお、A日程及びB日程では学外試験場(6ページ参照)を設けておりますが、受験上の特別措置を講ずる場合、その内容によっては、設備等の関係から、岡山試験場での受験を指定することがあります。

## 7 2段階選抜について

法学未修者入試、法学既修者入試とも、2段階選抜は行いません。

## 8 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、次の方法により行います。

### (1) 法学未修者入試

適性試験管理委員会が実施する2015年法科大学院全国統一適性試験、小論文、面接・書類審査を総合して判定します。

#### ① 小論文

法務研究科の勉学に必要な理解力、思考力、表現力をみます。

#### ② 面接・書類審査

志望動機の明確さ及び本研究科の入学者受入方針にかなう人物かどうかをみます。

#### ③ 配点

A日程、B日程

法科大学院全国統一適性試験	小論文	面接・書類審査	計
100点	200点	50点	350点

(注1) 法科大学院全国統一適性試験の配点は、第1部～第3部の総合得点(300点満点)を100点満点に換算します。

(注2) 小論文又は面接・書類審査で2割を超えて得点できなかった者は、不合格とすることがあります。



C 日程

法科大学院全国統一適性試験	小論文	面接・書類審査	計
50点	100点	50点	200点

(注1) 法科大学院全国統一適性試験の配点は、第1部～第3部の総合得点(300点満点)を50点に換算します。

(注2) 小論文試験に代えて「法科大学院全国統一適性試験の第4部」で評価を受けることができます。第4部での評価を希望する場合は適性試験管理委員会の提供する解答用紙の写しを提出してください。

第4部で評価を受ける場合、小論文試験は受けられません。

(注3) 小論文又は面接・書類審査で2割を超えて得点できなかった者は、不合格とすることがあります。

(2) 法学既修者入試

適性試験管理委員会が実施する2015年法科大学院全国統一適性試験、法律科目試験、面接・書類審査を総合して判定します。

① 法律科目試験 次の3科目について論述試験を行います。

- ・公法系(憲法)
- ・民事法系(民法, 民事訴訟法, 商法)
- ・刑事法系(刑法, 刑事訴訟法)

※試験時間中は、六法を貸与します。

※配点は、公法系は50点満点、刑事法系は100点満点、民事法系は150点満点で、計300点満点です。

② 面接・書類審査

志望動機の明確さ及び本研究科の入学受入方針にかなう人物かどうかをみます。

③ 配点

法科大学院全国統一適性試験	法律科目試験	面接・書類審査	計
100点	300点	50点	450点

(注1) 法科大学院全国統一適性試験の配点は、第1部～第3部の総合得点(300点満点)を100点満点に換算します。

(注2) 法律科目試験の各科目で6割又は面接・書類審査で2割を超えて得点できなかった者は、不合格とすることがあります。

9 試験日程及び試験場

(1) 試験日程

① 法学既修者入試

A日程, B日程, C日程

A日程 平成27年 9月 5日(土)	公法系	9時45分～10時30分
	刑事法系	11時00分～12時30分
B日程 平成27年11月14日(土)	民事法系	13時30分～15時30分
C日程 平成28年 1月23日(土)	面接	16時00分～18時00分

② 法学未修者入試

A日程, B日程

A日程 平成27年 9月 6日(日)	小論文	9時30分～11時30分
B日程 平成27年11月15日(日)	面接	12時00分～16時00分

C日程

C日程 平成28年 1月24日(日)	小論文	9時30分～10時30分
	面接	11時00分～13時00分

(注) 面接終了時刻は変更になる場合があります。

同一日程の法学未修者入試と法学既修者入試の併願者でも、面接は1回です。併願者の面接実施日は、各日程における2日間のいずれかの日を、本研究科が指定します。

詳細については、受験票交付時にお知らせします。

(2) 試験場

各日程の試験場は、次のとおりです。

A日程 岡山試験場、東京試験場及び福岡試験場

B日程 岡山試験場及び東京試験場

C日程 岡山試験場

希望する試験場を入学願書の所定欄に記載してください。(出願後に希望する試験場を変更することはできません。)

なお、東京試験場、福岡試験場ともに、当該試験場での受験希望者が40人を超えた場合には、岡山試験場での受験を指定することがあります。指定することとなった場合は、法科大学院全国統一適性試験の高得点順に上位から原則40人を希望の試験場での受験者とし、それ以外の者を岡山試験場での受験者として決定し、受験票交付時にお知らせします。

① 岡山試験場

岡山市北区津島中3-1-1

岡山大学文学部・法学部・経済学部

・JR岡山駅西口から「47」系統の岡電バスで「岡大西門」下車

・タクシーでJR岡山駅西口から約10分

② 東京試験場

東京都墨田区江東橋3-9-10

すみだ産業会館

・JR/東京メトロ錦糸町駅から徒歩1分

③ 福岡試験場

福岡県福岡市博多区博多駅東1-16-14

リファレンス博多駅東ビル

・JR博多駅から徒歩4分

## 10 合格者発表

下記の日時に文学部・法学部・経済学部掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には文書で通知します。

また、合格者発表後、本研究科ホームページに合格者の受験番号を掲載します。

(URL <http://www.lawschool.okayama-u.ac.jp>)

なお、電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

A日程	平成27年 9月18日(金) 13時
B日程	平成27年11月27日(金) 13時
C日程	平成28年 2月 5日(金) 13時

※A日程又はB日程において法学未修者入試と法学既修者入試を併願した者で、法学未修者入試合格者で入学手続を行った者を対象に、後日、法学既修者認定試験を行うことがあります。詳細は対象者宛に文書で通知します。

## 1.1 入学手続

入学手続期間は、下記のとおりです。

A日程	平成27年 9月21日(月) から平成27年10月 2日(金) まで
B日程	平成27年11月30日(月) から平成27年12月11日(金) まで
C日程	平成28年 2月 8日(月) から平成28年 2月12日(金) まで

来学により手続をする場合の受付時間は8時30分から17時15分まで(土・日曜日、祝日を除く。)です。手続書類を郵送する場合は、入学手続期間最終日までの消印があるものに限り受け付けます。この手続期間に遅れた場合は、いかなる理由があっても受け付けません。

詳細については、合格通知発送時にお知らせします。

## 1.2 追加合格

入学手続の状況により、一般入試の受験者を対象として、「追加合格」により欠員補充を行うことがあります。

実施予定期間	平成28年2月16日(火) から平成28年3月31日(木) まで
実施方法	入学願書に記載された現住所等へ「電話により」直接本人に連絡します。本研究科からの連絡が確実に受けられるよう所在を明らかにしておいてください。

## 1.3 法務研究科の修業年限

法学未修者入試に合格した者の修業年限は3年、法学既修者入試に合格した者の修業年限は2年です。

## Ⅱ 中四国地域枠特別入試

### 入学者受入方針（Admission Policy）

本研究科は、平成27年度法科大学院公的支援見直し加算プログラムにおいて、「岡山大学法科大学院弁護士研修センター（OATC）を活用した先導的法曹養成教育システムの構築と中四国地区における法曹人材還元ルート確立のためのプロジェクト」が【卓越した優れた取組】として評価されました。

このプロジェクトを推進するため、下記の条件のいずれにも当てはまる方について特別入試を実施します。

- \* 企業法務、医療・福祉、行政実務のいずれかに強い関心のある者。
- \* 法科大学院修了後、中四国地区において法曹として活動する意欲のある者。
- \* 法科大学院在学中及び修了後にOATCの研修に積極的に参加する意志のある者。

なお、中四国地域枠特別入試は法学未修者のみの特別選抜です。A日程一般入試（法学未修者入試・法学既修者入試）との併願はできません。法学既修者としての入学を希望する場合は一般入試を受験してください。

#### 1 募集人員

入 試 区 分	募集人員
中四国地域枠特別入試	6人

（注1）平成28年度法務研究科学生募集においては、一般入試（各日程の法学未修者入試及び法学既修者入試）と中四国地域枠特別入試とを合わせて30人を募集します。中四国地域枠特別入試の募集人員はその内数です。

（注2）A日程の一般入試との併願はできません。

（注3）中四国地域枠特別入試の合格者がその募集人員に満たない場合には、その欠員数を一般入試の法学未修者入試に含めて選抜します。

#### 2 出願資格

出願資格を有する者は、次の（1）及び（2）のいずれにも該当し、かつ、適性試験管理委員会が実施する2015年法科大学院全国統一適性試験を受験している者としてします。ただし、法科大学院全国統一適性試験の得点が本研究科の定める最低基準点に満たない者の出願は認めません。最低基準点については、適性試験管理委員会が公表する総合得点の度数分布に基づき、法科大学院全国統一適性試験の総受験者の下位から概ね15%を目安として設定し、平成27年7月上旬頃に本研究科ホームページ上でお知らせします。（URL <http://www.lawschool.okayama-u.ac.jp>）

- （1）中四国地区の4年制大学の4年次に在学する者で平成28年3月までに卒業見込みの者（学部・学科は問いません）
- （2）岡山大学大学院法務研究科での勉学を強く希望し、合格した場合に必ず入学することを確約できる者

#### 3 出願手続

入学志願者は、次の書類等を本研究科所定の封筒に入れて、出願期間内に郵送又は持参してください。

出願書類等	摘 要
① 入学願書 受験票 写真票	本研究科所定の用紙に必要事項を記入してください。 入学願書、写真票の所定欄に写真を貼ってください。 (縦4cm、横3cmの正面上半身無帽で3か月以内に撮影したもの)
② 法科大学院全国 統一適性試験の 成績証明カード	適性試験管理委員会が実施した2015年法科大学院全国統一適性試験の成績証明カードを、「法科大学院全国統一適性試験成績証明カード貼付用紙」の所定欄に貼って提出してください。 なお、第4部「表現力を測る問題」の解答用紙(写)については、提出不要です。
③ 入学検定料 30,000円	振込手数料が別に必要です。 入学検定料は、添付の「入学検定料振込用紙」により、金融機関(ゆうちょ銀行又は郵便局を含む。)の窓口から(ATMは利用できません。)振込によって納入し、必ず「入学検定料振込証明書」を入学願書の所定欄に貼ってください。
④ 成績証明書	出願資格に記入する出身大学の長又は学部長が作成し厳封したもの
⑤ 卒業見込証明書	出願資格に記入する出身大学の長又は学部長が作成したもの
⑥ 自己推薦書	本研究科所定の用紙により、作成してください。
⑦ 受験票送付用封筒	本研究科所定の封筒に、392円分の切手(簡易書留分)を貼付し、住所・氏名・郵便番号を記入してください。 その際、敬称を訂正しないでください。
⑧ 資格取得証明書等	17ページ 記入上の注意事項【入学願書】を参照し、特記すべき資格欄に記入した場合には、証明する写し等を提出してください。

(注1) 外国人の入学志願者は、上記以外に、住民票(在留資格・在留期間の記載されたもの)又は入国査証の写しを、別途提出してください。

国費外国人留学生は、在籍する大学長等が発行する国費外国人留学生の証明書を添付してください。

国費外国人留学生は、原則として入学検定料は不要ですが、平成28年3月31日限りで奨学金支給期間が終了する者は、入学検定料の納入が必要です。

なお、奨学金支給期間の延長が認められた場合には、入学検定料を返還します。

出願書類の作成、提出に際しては、下記の点に注意してください。

- ① 出願書類等に不備があるものは、受理しません。
- ② 提出された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ③ 出願後に入試区分及び単願・併願の受験区分を変更することはできません。
- ④ 証明書等の氏名が現在の氏名と異なる場合(改姓されている場合)には、改姓(名)の日付と新旧姓(名)を、入学志願者本人が記入した文書(様式は任意です。)で提出してください。
- ⑤ 外国語で作成された出願書類等には、日本語訳を必ず添付してください。
- ⑥ 出願書類等の記載内容に虚偽の記載があった場合は、入学後においても入学が取り消されることがあるので注意してください。

#### 4 出願期間

平成27年 7月31日(金)から平成27年 8月 7日(金)まで
----------------------------------

※郵送の場合は、本研究科所定の封筒を使用し、出願期間内に到着するよう、書留速達にて送付してください。ただし、平成27年8月7日(金)までの消印のあるものに限り、

出願期間後に到着した場合でも受理します。持参の場合は、出願期間内（土・日曜日を除く。）の8時30分から17時15分までに下記提出先へ持参してください。この期間を超えての出願は、いかなる理由があっても認めません。

提出先

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学大学院社会文化科学研究科等事務部 法務研究科教務担当 【電話（086）251-7358】
--

## 5 受験票の交付

- (1) 受験票は、出願期間終了後10日程度で本人あて発送しますが、試験日の10日前までに到着しない場合は、4の提出先に確認してください。
- (2) 受験票は、入学試験時及び入学手続き時に必要となるので、大切に保管しておいてください。

## 6 障がい等のある方の受験上及び修学上の特別措置

障がい等のある入学志願者が、受験上及び修学上特別な配慮を希望する場合は、出願に先立ち、次により相談してください。

相談締切期限	平成27年7月10日（金） 17時15分まで
相談方法	下記へ「出願に伴う事前相談書」を請求して、医師の診断書及び障害者手帳の写し（交付されている者のみ）を添えて相談してください。
書類請求 ・ 提出先	〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学大学院社会文化科学研究科等事務部 法務研究科教務担当 【電話（086）251-7358】
結果の通知	平成27年7月24日（金）

迅速な相談結果の通知及び特別な配慮に基づく必要な措置を講ずるための所要時間等を考慮し、少しでも早く相談してください。

## 7 2段階選抜について

2段階選抜は行いません。

## 8 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、次の方法により行います。

適性試験管理委員会が実施する2015年法科大学院全国統一適性試験、自己推薦書、面接・書類審査を総合して判定します。

### ① 自己推薦書

志望動機の明確さ及び法務研究科の勉学に必要な思考力、表現力をみます。

### ② 面接・書類審査

本研究科及び中四国地域枠特別入試の入学者受入方針にかなう人物かどうかをみます。

### ③ 配 点

法科大学院全国統一適性試験	自己推薦書	面接・書類審査	計
100点	150点	100点	350点

(注1) 法科大学院全国統一適性試験の配点は、第1部～第3部の総合得点(300点満点)を100点満点に換算します。

(注2) 自己推薦書又は面接・書類審査で2割を超えて得点できなかった者は、不合格とすることがあります。

## 9 試験日程及び試験場

### (1) 試験日程

平成27年9月6日(日)	面接	9時30分～11時30分
--------------	----	--------------

(注) 面接終了時刻は変更になる場合があります。

詳細については、受験票交付時にお知らせします。

### (2) 試験場

中四国地域枠特別入試の試験場は、岡山試験場のみです。

#### 岡山試験場

岡山市北区津島中3-1-1

岡山大学文学部・法学部・経済学部

- ・JR岡山駅西口から「47」系統の岡電バスで「岡大西門」下車
- ・タクシーでJR岡山駅西口から約10分

## 10 合格者発表

平成27年9月18日(金)13時に文学部・法学部・経済学部掲示板に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には文書で通知します。

また、合格者発表後、本研究科ホームページに合格者の受験番号を掲載します。

(URL <http://www.lawschool.okayama-u.ac.jp>)

なお、電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

## 11 入学手続

入学手続期間は、平成27年9月21日(月)から平成27年10月2日(金)までとします。

来学により手続をする場合の受付時間は8時30分から17時15分まで(土・日曜日、祝日を除く。)です。手続書類を郵送する場合は、10月2日(金)までの消印があるものに限り受け付けます。この手続期間に遅れた場合は、いかなる理由があっても受け付けません。

詳細については、合格通知発送時にお知らせします。

## 12 法務研究科の修業年限

中四国地域枠特別入試に合格した者の修業年限は3年です。

### Ⅲ 共通事項

#### 1 注意事項

(1) 振込済の入学検定料は、次の場合にのみ返還します。

ア 入学検定料を振り込んだが岡山大学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった  
又は出願が受理されなかった）場合

イ 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合

ウ 平成28年3月31日限りで奨学金の支給期間が終了する国費外国人留学生で、入学  
検定料を振り込んだが、奨学金支給期間の延長が認められた場合

(2) 学費

入学料 282,000円（予定額）

授業料（前期分） 402,000円 年額804,000円（予定額）

\*入学時及び在学中に入学料、授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな金額  
が適用されます。

\*入学手続後に入学を辞退されても、入学料は返還できません。

\*入学手続書類発送の際、別途入学料・授業料の納入方法をお知らせします。

\*本研究科では、授業に伴う損害を填補するため、入学者には次の2つの保険に必ず加入  
していただきます。

保険加入は授業履修の条件としていますので、入学手続書類と併せて送付する案内に従  
って保険料を納入してください。

①学生教育研究災害傷害保険（保険料3年分 2,600円）

②法科大学院生教育研究賠償責任保険（保険料3年分 4,920円）

※法学既修者の場合、保険料は①1,750円、②3,280円になります。

なお、保険料は平成27年度の金額です。

(3) その他出願、選抜日程等の問い合わせについては、4の照会先に照会してください。

#### 2 学生募集要項等の請求方法について

(1) テレメールを通じて請求する場合

① 本研究科のホームページから請求する場合


本研究科ホームページのリンクから資料請求ができます。

詳しくは、本研究科ホームページ「学生募集要項請求について」をご覧ください。

(URL <http://www.lawschool.okayama-u.ac.jp>)

② インターネット（パソコン・スマートフォン・携帯電話）又は自動音声応答電話で請求  
する場合

・下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

インターネット（パソコン・ スマートフォン・携帯電話） の場合	<a href="http://telemail.jp">http://telemail.jp</a>	バーコードからアクセス した場合は資料請求番号 の入力は不要です。 
自動音声応答電話の場合	<b>I P 電話 050-8601-0101（24時間受付）</b>  ※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分 ごとに約12円です。 ※住所氏名等の登録時はゆっくり・はっきりとお話くださ い。登録された音声の不鮮明な場合は資料をお届けできな いことがあります。	



- ・ 請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金(送料含)	発送開始日
学生募集要項	750802	215円	6月29日発送予定
学生募集要項 +法科大学院案内	750812	215円	6月29日発送予定

- ・ あとはガイダンスに従ってお届け先を登録してください。テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。

①, ②に関する注意事項

- ・ 請求から2～3日後に資料が届きます。ただし、受付時間や地域、配達事情によっては4日以上かかる場合もあります。5日以上経っても届かない場合はテレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。
- ・ 料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後一週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払い手数料が別途必要です（コンビニ支払いは86円。ゆうちょ銀行・郵便局のATM扱いは80円、窓口扱いは130円。ケータイ払いは50円。クレジットカード払いは50円）。また、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。
- ・ 資料請求終了時及び受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

①, ②の請求方法についての問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター IP電話 050-8601-0102  
(受付時間 9:30～18:00)

※テレメールカスタマーセンターは、株式会社フロムページが管理運営しています。

(2) 大学に直接請求する場合

郵送を希望する場合は、封筒に「法科大学院学生募集要項請求」と朱書き、215円分の切手を貼った返信用封筒「角型2号（縦33.2cm×横24cm）」に請求者の住所、氏名及び郵便番号を明記したものを同封の上、岡山大学大学院社会文化科学研究科等事務部 法務研究科教務担当（〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1）あてに申し込んでください。

### 3 入試情報の開示

平成28年度岡山大学大学院法務研究科学生募集に伴う入学試験（個人情報）の開示は、以下のとおり行います。

(1) 開示対象者

受験者

(2) 開示する内容

試験成績（本人の成績、合格者の最高点・最低点）

ただし、受験した入試の合格者が5人未満の場合、当該入試の「合格者の最高点・最低点」は開示しません。

(3) 開示請求の方法

入試情報開示請求書（所定様式）に法務研究科受験票と身分証明書（写真のあるもの）を添えて、本人が(4)の開示請求受付期間中に、4の照会先に提出してください。

なお、郵便で開示請求する場合の手続については、平成28年4月下旬に本研究科ホームページに掲載しますので、そちらで確認してください。

入試情報開示請求書は、次のいずれかの方法で入手してください。

- ① 本研究科ホームページよりダウンロードしてください。

(URL <http://www.lawschool.okayama-u.ac.jp>)

② 4の照会先で入手してください。郵送で請求するには、受験番号及び入試情報開示請求書希望の旨を明記し、返信用封筒（住所・氏名を記入し82円切手を貼付したもの）を同封して4の照会先へ送付してください。入試情報開示請求書と、郵便で開示請求する手続を記載したものを送付します。

(4) 開示請求受付期間

平成28年5月2日（月）から平成28年6月30日（木）（土・日曜日、祝日を除く。）の9時から17時まで。

郵送で7月1日（金）以降に到着したものは、6月30日（木）までの消印があれば受け付けます。

(5) 開示の方法

入試情報開示請求書受理後、通知書の準備ができ次第、速やかに開示（発送）します。

ただし、提出された入試情報開示請求書及び手続に不備があるときは、受理しない（修正を求める）ことがあります。

## 4 入試に関する照会先

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

岡山大学大学院社会文化科学研究科等事務部 法務研究科教務担当

電 話 086-251-7358

受付時間 8時30分から17時15分まで（土・日曜日、祝日を除く）

## 5 個人情報の取扱いについて

提出された出願書類等及び記載されている個人情報は、入学者選抜に係る業務及び個人を特定できない形で行う調査・統計に使用します。

ただし、入学者については、入学願書に記載された氏名、性別、生年月日、本籍、現住所、出身学校等の個人情報を、本学学務システムの学生基本情報への登録データとしても利用します。

また、合格者の受験番号、氏名（漢字・カナ）の個人情報については、本学授業料債権管理事務システム及び授業料免除事務システムで行う業務にも利用します。

なお、入学料免除の申請、入学料徴収猶予の申請、授業料免除の申請及び独立行政法人日本学生支援機構奨学金の申請があった場合には、申請者本人の入学試験成績及び学業成績証明書を、入学料免除等の業務に係る学力判定処理に利用することがあります。

# 平成28年度 岡山大学大学院法務研究科（法科大学院）

## 出願資格審査について

一般入試の出願資格（2の出願資格）⑧⑨により出願しようとする者については、出願前に個別の出願資格審査を行いますので、本研究科（大学院社会文化科学研究科等事務部 法務研究科教務担当）へ問い合わせの上、以下の要項に従って所定の期日までに申請してください。

### 1 出願資格審査の申請について

申請に必要な書類

出願資格⑧	出願資格⑨
①入学試験出願資格認定審査願（本研究科所定の用紙）	
②審査結果通知用封筒（定形内縦23cm×横12cm 郵便番号、住所及び氏名を明記し、392円切手（簡易書留料金）を貼ったもの）	
③出身大学と在学する研究科両方の成績証明書	③最終学校卒業（修了）証明書
	④最終学校成績証明書
④出身大学と在学する研究科両方の在学期間証明書	⑤略歴書（本研究科所定の用紙）
	⑥研究・社会活動等についての経過報告（本研究科所定の用紙）

### 2 申請書類の請求方法について

申請書類を郵送で請求するときは、郵便番号、住所及び氏名を明記し、372円切手（速達料金）を貼った返信用封筒（定形内縦23cm×横12cm）を同封し、「大学院法務研究科入学試験出願資格認定審査願請求」と朱書し、4の願書の持参又は郵送先あて申し込んでください。

### 3 出願期日

A日程	平成27年 7月10日（金）まで
B日程	平成27年 9月25日（金）まで
C日程	平成27年12月 4日（金）まで

### 4 願書の持参又は郵送先

〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1

岡山大学大学院社会文化科学研究科等事務部 法務研究科教務担当

電話 (086)251-7358

持参の場合：受付時間は、8時30分から17時15分までです。（土・日曜日、祝日を除く）

郵送の場合：必ず書留速達で、出願期日必着で郵送してください。

### 5 審査方法及び審査結果の通知について

#### (1) 審査方法

書類審査（提出書類）により行います。

#### (2) 審査結果の通知

審査結果は、申請者に郵送により、下記までに通知（連絡）します。

A日程	平成27年 7月24日（金）まで
B日程	平成27年10月 9日（金）まで
C日程	平成27年12月21日（月）まで

## 6 注意事項

- (1) 申請書類等に不備があるときは、受理しません。
- (2) 提出された書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- (3) 出願資格を認定した場合は、申請書類のうち成績証明書、卒業証明書については、出願書類の一部として流用できます。(3ページ(注2)を参照してください。)
- (4) 出願資格審査料は不要です。

## 記入上の注意事項

### 【入学願書】

特記すべき資格に記入する内容と添付する書類

○これまでに取得した**各種資格のうち特記すべき資格**・・・**資格取得証明書又は免許の写し**

修士号，博士号を記入する場合は・・・・・・・・・・・・・・**修了証明書**

○過去3年間の司法試験予備試験短答式試験合格・・・・・・・・・・**司法試験予備試験論文式試験の受験票**（これがない場合は短答式試験の受験票）**の写し**

注 なお，各種資格取得証明書・各種試験の成績等を任意に提出された場合は，本研究科の合否判定に際し，面接・書類審査の参考とはしますが，**必ずしもすべてが有利に斟酌されるものではないことに留意してください。**

### 【志望理由書】

1. 志望理由書は，800字以上1000字の範囲で横書きで記入してください。
2. すべて志願者本人が自筆（ワープロなどは不可）で記入してください。  
**（黒インク又は黒ボールペンで記入してください。）**
3. なぜ法曹を志望し，そのためになぜ本研究科への入学を希望するのかを，具体的に記入してください。
4. 社会人は，特にこれまでの自己の社会的経験，社会的活動，これまでに取得した各種資格等が法曹にどのように関連し，また法曹としてそれらをどのように活かせるのかを，具体的に記入してください。

### 【自己推薦書】

1. 自己推薦書は，1000字以上1200字の範囲で横書きで記入してください。
2. すべて志願者本人が自筆（ワープロなどは不可）で記入してください。  
**（黒インク又は黒ボールペンで記入してください。）**
3. なぜ法曹を志望し，そのためになぜ本研究科への入学を希望するのか，企業法務，医療・福祉，行政実務のいずれにどのような関心があるか，中四国地区において法曹としてどのような活動をしていきたいかなどを，具体的に記入してください。

# 岡山大学大学院法務研究科（法科大学院）の概要

## I 教育の特色

### 1 教育目標

「地域に奉仕し，地域に根ざした法曹育成」を設置の理念とします。

### 2 カリキュラム編成の基本的方針

上記の理念を実現するため，問題発見能力，事案の解決能力，法実務に必要な総合的判断力・批判能力を養成することを目指し，特に次の分野の教育に重点を置きます。

- ① 地域に住む人々の生活に密接にかかわる問題の解決に貢献するという観点から，特に**医療・福祉をはじめ身近な生活問題**に強い，豊かな人権感覚をもつ人材の育成
- ② 地域経済の発展や地域の企業活動を支えるという観点から，税法等を含む広い意味での**ビジネス法**に強い人材の育成

①②の分野を中心に，地域社会一般に存在する法的需要について，法以外の分野も含む多様な実務との連携を通して学びます。さらに，その理論的考察・評価を通じて，実務の改善にも積極的にかかわる意欲と能力を育成します。

### 3 カリキュラム及び教育方法の特色

#### (1) 少人数教育による指導

法曹としての専門的資質・能力を，きめ細かな少人数教育によって確実に修得できるようにします。

#### (2) 法科大学院と連携する法律事務所（いわゆる附設法律事務所）における実務教育

法科大学院と連携し教育を主たる目的とする法律事務所をキャンパス内に置き，協力弁護士が法律相談等の業務を行いながら，学生のクリニック等の教育に当たります。

#### (3) ネットワーク・セミナー方式の採用

地域に根ざした法曹教育を充実させるために，医療・福祉系科目群において，法以外の分野を含む地域の多様な実務家と大学教員が，共同で「医療福祉研究（ネットワーク・セミナー）」科目を主宰します。

#### (4) 実務基礎科目群の充実

民事法・刑事法実務演習科目を充実させ，実務法曹としての高度な能力・技術・倫理の教育に重点を置きます。また，現状への批判的視点を維持し，新たな実務分野へ対応することもできるよう，実務の理論化にも意を用います。

## II 教員組織

### 1 専任教員

平成27年4月末日現在19人です。(今年度中に1人が着任予定です)うち実務家教員は、6人です。ほかに、IT関連科目の補助を担当する助教が1人です。

#### ■ 研究者教員 ■

名前	職名	専門分野	担当科目(主要なもの)
田近 肇	教授	憲法	「憲法Ⅰ,Ⅱ」,「人権演習」
南川 和宣	教授	行政法	「行政法」,「行政訴訟法演習」, 「公法訴訟演習」,「行政訴訟法」
辻 博明	教授	民法	「民法Ⅱ」,「民法演習Ⅱ」, 「民事法事例研究」
山下 登	教授	民法	「民法Ⅰ」,「民法演習Ⅲ」, 「医事法」,「交通賠償法」
岩藤 美智子	教授	民法	「民法Ⅲ」,「民法演習Ⅰ」
鈴木 隆元	教授	商法	「商法」,「商法演習」,「商取引法」, 「会社訴訟法演習」
米山 毅一郎 ※H27.10着任予定	教授	商法	「商法演習」
伊東 俊明	教授	民事訴訟法	「民事訴訟法」,「民事訴訟法演習」, 「民事法事例研究」,「会社訴訟法演習」, 「裁判法」,「家族法・手続法統合特論」
堀 清史	准教授	民事訴訟法	「家族法・手続法統合特論」
神例 康博	教授	刑法	「刑法」,「刑法演習」,「刑法特論」, 「刑事法総合演習」,「経済刑法」
小浦 美保	准教授	刑事訴訟法	「刑事訴訟法」,「刑事訴訟法演習」, 「刑事法総合演習」,「裁判法」
佐藤 吾郎	教授	経済法	「経済法Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ」
西田 和弘	教授	社会保障法 労働法	「社会保障制度論」,「社会保障法」, 「医療福祉研究(ネットワーク・セミナー)」, 「労働者保護法」,「応用労働法」,「労使関係法」

#### ■ 実務家教員 ■

名前	職名	実務分野	担当科目(主要なもの)
井藤 公量	教授	民事実務 (弁護士)	「法解釈入門」,「民法演習Ⅱ」,「刑事法総合演習」, 「法曹倫理」,「要件事実・民刑事法演習」, 「ローヤリング・クリニック」, 「知的財産法Ⅰ」
吉野 夏己	教授	公法・民事実務 (弁護士)	「行政訴訟法演習」,「公法訴訟演習」, 「民事訴訟実務」, 「模擬裁判・エクスターンシップ」
吉沢 徹	教授	民事・刑事実務 (弁護士・元検事)	「刑事訴訟法演習」,「刑事法総合演習」, 「刑事訴訟実務」, 「要件事実・民刑事法演習」,「裁判法」
妻鹿 安希子	准教授	民事・刑事実務 (弁護士)	「民法演習Ⅲ」,「会社訴訟法演習」, 「要件事実・民刑事法演習」, 「ローヤリング・クリニック」
周東 秀成	准教授	民事実務 (弁護士)	「民法演習Ⅲ」,「民事法事例研究」, 「会社訴訟法演習」, 「要件事実・民刑事法演習」, 「ローヤリング・クリニック」
宮本 由美子	教授 (特任)	民事実務 (弁護士・元判事)	「家族法」, 「要件事実と事実認定の基礎」, 「民事訴訟実務」, 「模擬裁判・エクスターンシップ」

※担当科目等は平成27年度の内容であり、入学時には変更となる可能性があります。

## 2 法学部等学内の教員の兼担及び非常勤講師

法学部をはじめとする学内の兼担教員及び非常勤講師らが、情報法、刑事心理学、法曹のための医学入門などの展開・先端科目群やその他の多様な科目を開講します。また、理論と実務の架橋を図る教育充実のため、医療福祉研究（ネットワーク・セミナー）、法曹倫理、企業法務などの多彩な講義を、岡山弁護士会など多数の実務家の協力によって開講します。さらに、現職の裁判官及び検察官の派遣教員もその経験を活かした授業を担当します。

詳しくは「岡山大学法科大学院2016年ガイドブック」をご覧ください（本研究科ホームページでもご覧いただけます）。

## Ⅲ 開設科目及び課程修了要件

※下記は平成27年度までの内容です。平成28年度からの変更を検討しています。

### 1 開設科目

#### A 法律基本科目群

- (1) 必修科目 : 22科目 62単位  
(2) 選択必修科目 : 6科目12単位中、2単位選択必修

#### B 実務基礎科目群

- (1) 必修科目 : 6科目 11単位  
(2) 選択必修科目 : 2科目6単位中、3単位選択必修  
(3) 選択科目 : 2科目 3単位

#### C 基礎法学・隣接科目群

9科目18単位中、4単位選択必修

#### D 展開・先端科目群

37科目74単位中、「医療・福祉系科目」又は「法とビジネス系科目」のいずれかで4単位選択必修

### 2 課程修了要件とその内訳

	法学未修者 (3年標準型)	法学既修者 (2年短縮型)
「法律基本科目群」のうち必修科目	62単位	26単位
「法律基本科目群」のうち選択必修科目	2単位	2単位
「実務基礎科目群」のうち必修科目	11単位	11単位
「実務基礎科目群」のうち選択必修科目	3単位	3単位
その他の科目	24単位以上	24単位以上
合計	102単位以上	66単位以上

※ただし、「B 実務基礎科目群」「C 基礎法学・隣接科目群」「D 展開・先端科目群」のうちから合計で33単位以上の修得を必要とする。

また、「C 基礎法学・隣接科目群」のうちから4単位以上及び「D 展開・先端科目群」のうち、「医療・福祉系科目」又は「法とビジネス系科目」のいずれかから4単位以上の修得を必要とする。



### 〈長期履修制度〉

近親者の介護・支援，育児，その他特別な事情により，標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する者には，本人の申請に基づき，審査の上で，その計画的な履修を認める「長期履修制度」があります。

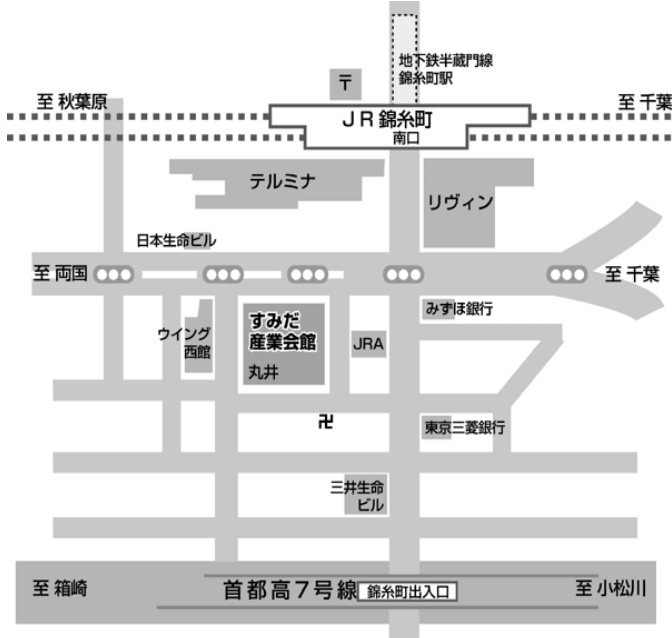
本制度は，法学未修者の場合，3年間の教育課程を4年間かけて計画的に履修するもので，3年分の授業料を4年間に分割して納入することになります。法学既修者の場合は，2年間の教育課程を3年間かけて計画的に履修するもので，2年分の授業料を3年間に分割して納入することになります。ただし，在学中に授業料の改定が行われた場合，改定時に金額は再計算されます。

なお，申請方法等の詳細については，合格通知発送時にお知らせします。

### 岡山試験場位置図



### 東京試験場位置図（すみだ産業会館）



### 福岡試験場位置図（リファレンス博多駅東ビル）

